

統合型リゾート (IR: Integrated Resort) ～ゲーミング (カジノ) 市場及び主要 IR 施設の概要～

2014 年 11 月

IR ビジネス・リサーチグループ リーダー
有限責任監査法人トーマツ パートナー
仁木一彦

※当該資料中、意見に亘る部分は著者の私見であり、著者の属する法人等のものではありません。

I. はじめに

ゲーミング(カジノ)は欧州で生まれ、その後世界の多くの国において、上流階級の社交場及び庶民の娯楽として認知されてきました。

ラスベガスでは、ゲーミング(カジノ)の売上高に課税することで税収を確保することを目的に、1931年にゲーミング(カジノ)が合法化されました。その後、市場健全化のため段階的に規制を整備し、大衆化・健全化を行っています。

また、2010年に2ヶ所の大型IR施設が開業したシンガポールでは、国際競争力の低下及び旅行者の減少に対応するため、2005年にゲーミング(カジノ)を合法化しました。ゲーミング(カジノ)だけに留まらない高いレベルのIR施設の建設を国家主導で推進し、GDPの増加、海外の観光客の増加を実現しています。

近年でも、海外の観光客を集めて外貨を獲得する、雇用を生み出す、等の理由からゲーミング(カジノ)を設置する国が現れ、ゲーミング(カジノ)市場は成長を続けています。現在、ゲーミング(カジノ)施設は世界の140の国と地域で設置され、4,000施設以上が営業を行っており、その市場規模は10兆円を超えています。

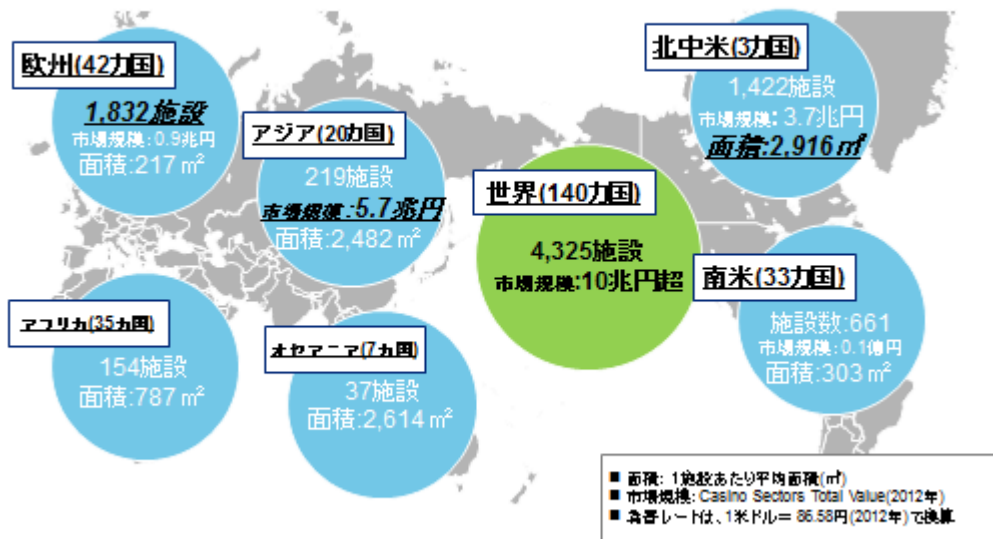
II. ゲーミング (カジノ) 市場の概況

成長を続けているゲーミング(カジノ)市場ですが、地域毎のカジノ施設数、市場規模、カジノの平均面積を比べると、それぞれ異なった

特徴を持っています。

ラスベガスのストリップエリアを中心に、大規模なカジノ施設が多い北中米や、大型 IR 施設の建設が相次いでいるマカオのような新興地域があるアジアでは、施設面積及び市場面積共に大きくなっています。特に 1 施設あたり平均面積は北中米が 2,916 m²と最も大きく、市場規模はアジアが 5.7 兆円と最も大きくなっています。その一方で、カジノの歴史が古い欧州では、最多の 42 カ国でカジノが設置されており、カジノの施設数は 1,832 施設と、世界全体の 42%を占めているものの、小規模なカジノ施設が多いため、1 施設あたり平均面積は 217 m²、市場規模は 0.9 兆円と小さくなっています(図表 1 参照)。

図表 1 ゲーミング(カジノ)市場の概況



出典: Casino City Press “Global Gaming Almanac 2013 Edition”, MarketLine “Casinos & Gaming”よりトーマツグループ IR ビジネス・リサーチグループが作成

また、現在アジアでは、マカオのコタイ地区を始め、フィリピンや韓国など複数の国で、更なるカジノ施設が建設中・建設計画中で、その市場規模は今後も大きくなっていくことが予想されます。

Ⅲ. 主要 IR 施設の概要

近年建設されているカジノ施設を含む複合施設は、その多くが IR 型となっており、特に 2005 年以降、マカオやシンガポールを初めとする国々で開業しています(図表 2 参照)。

図表 2 2005 年以降に開業した主なカジノ施設の一覧

国・地域	開業年	施設名	カジノ事業者
マカオ	2006	ウイン・マカオ	ウイン・リゾーツ
マカオ	2007	ザ・ベネチアン・マカオ	ラスベガス・サンズ
マカオ	2009	シティ・オブ・ドリームス	メルコ・クラウン・エンターテインメント(*1)
ラスベガス	2009	シティセンター	シティ・センター(*2)
シンガポール	2010	マリーナ・ベイ・サンズ	ラスベガス・サンズ
シンガポール	2010	リゾート・ワールド・セントーサ	ゲンティン・バーハッド
マカオ	2011	ギャラクシー・マカオ	ギャラクシー・エンターテインメント・グループ
マカオ	2012	サンズ・コタイセントラル	ラスベガス・サンズ

(*1) メルコ・クラウン・エンターテインメント:メルコ・インターナショナル・ディベロプメントとクラウン・リゾーツのジョイント・ベンチャー

(*2) シティ・センター:MGM リゾーツ・インターナショナルとインフィニティ・ワールド・ディベロプメントのジョイント・ベンチャー

出典:各社 Annual Report、10-K、各社ホームページよりトーマツグループ IR ビジネス・リサーチグループが作成

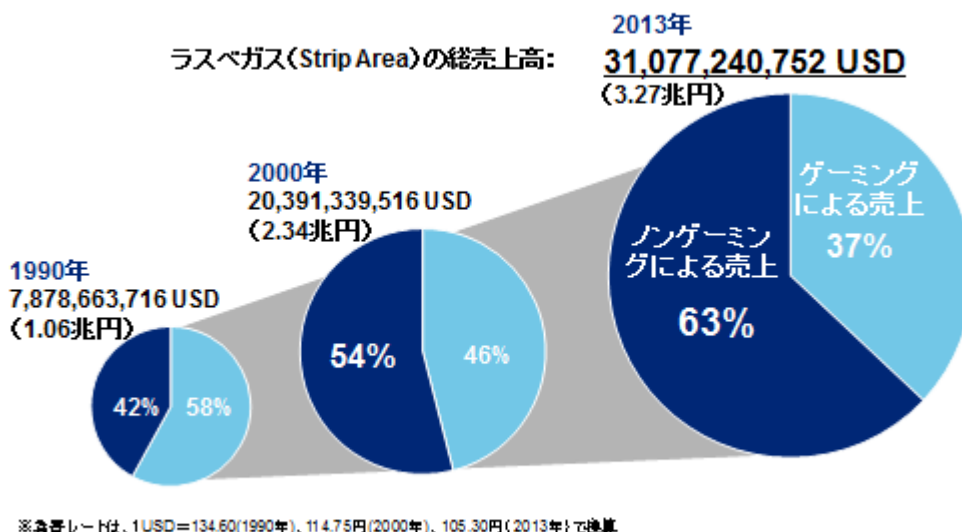
これらの IR 施設においては、IR 施設全体の延床面積に対し、カジノ面積の割合が小さいことが特徴です。2005 年以降に開業した主な IR 施設においても、カジノ面積の割合は 2~7%程度となっています。

IV. ノンゲーミング市場

近年、ゲーミング(カジノ)市場において、カジノ単体での売上高よりも、ノンゲーミング(カジノ以外の活動)から得る売上高の方が大きくなってきています。

実際に、ラスベガスのストリップエリアにある IR 施設を見てみると、同エリアにある施設の総売上高に占めるノンゲーミングの割合は、年々大きくなってきています。今後、世界のゲーミング(カジノ)市場で IR 施設が増えてきた場合、同様にノンゲーミングの売上が大きくなっていくことが想定されます(図表 3 参照)。

図表 3 ラスベガス(ストリップエリア)における売上構造(ゲーミング(カジノ)/ノンゲーミング)の変化)



出典:「Navada Gaming Abstract」よりトーマツグループ IR ビジネス・リサーチグループが作成

本記事に関して、より詳細な調査資料をご希望の場合は、以下までお問い合わせください。

IR(統合型リゾート)ビジネス・リサーチグループ

info-irbg@tohmatu.co.jp

著者紹介



仁木 一彦(にき・かずひこ)

IR ビジネス・リサーチグループ リーダー

有限責任監査法人トーマツ パートナー

【経歴】

IRビジネスに係るプロジェクトの業務責任者を複数務め、IRビジネス参入を検討する企業だけでなく、国や地方自治体に対するサポートも手がける。IRビジネスに関係の深いエンタテインメント、メディア、不動産、ホテル等でのコンサルティング業務経験を多数有する。

企業の透明化・健全化に関する分野を中心に専門分野は各種規制対応、コーポレートガバナンス、内部統制、内部監査、不正対策、リスクマネジメント、コンプライアンス、CSR等。著書に『図解 ひとめでわかる内部統制 第3版』(東洋経済新報社)、『図解 ひとめでわかるリスクマネジメント 第2版』(東洋経済新報社)、『リスクマネジメントのプロセスと実務』(LexisNexis)など多数。

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,800名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名を超える人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。